



FAXでのお申し込みは 》 **FAX: 03-3208-6255**

税理士 笹岡宏保先生による資産税実務大学2018【土地評価実務総合大学 秋冬コース】受講申込書

ご記入月日		平成 年 月 日	
ふりがな			
事務所名 または会社名			
事業所または 会社所在地 ご住所	〒		
ご連絡先	TEL FAX 携帯電話など必ず連絡がつく先をご記入ください。		
ふりがな		E-mail	
参加者名			
業種	☐ 弁護士 ☐ 税理士 ☐ 公認会計士 ☐ 司法書士 ☐ 不動産鑑定士 ☐ 行政書士 ☐ 社会保険労務士 ☐ 土地家屋調査士 ☐ 中小企業診断士 ☐ FP ☐ 金融機関 ☐ 証券 ☐ 保険 ☐ コンサルティング会社 ☐ 不動産業 ☐ 住宅・建設 ☐ その他()		
	認定区分に○印		
	AFP・CFP® 番号		
必ずいずれかに ☒ をご記入ください。 ☐ 東京定額制クラブ会員(プレミアム会員) ☐ それ以外の会員 ☐ 一般			

- 本書・受講申込書をコピーし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込下さい。「受講申込書」が届きしだい参加者様宛に、折り返し「受付確認書」をFAX致します。
- 講師の都合により日程が変更になる場合がございます。その際にかかる交通費等の保証はできかねますので予めご了承ください。
- **各会員割引** ※1 **無料**：東京定額制クラブ会員(プレミアム会員)、TAPチケット10使用(全講座申込みの場合、10枚使用)
 ※2 **20%OFF**：TAP実務家クラブ会員、相続アドバイザー協議会認定会員
 ※3 **30%OFF**：大阪定額制クラブ会員割引対象者

資産税実務大学2018 秋冬コース(全4講座・10日間・全日10:30~17:00)

ご希望講座に ☒ を入れてください。価格は全てレジュメ、税込み表記です。				単独申込	コース申込
土地評価実務総合大学	第4	10/28(日)、29(月)	農地・山林・原野(宅地予備地)の評価実務	☐ ¥70,000	単独申込より ¥64,000お得! ¥270,000 ☐
	第5	11/25(日)、26(月)	雑種地の評価実務	☐ ¥70,000	
	第6	12/22(土)、23(日) 24(月・祝)	借地権の評価実務 (借地権の形態区分分類から判例・裁決事例の検討まで 「所得税・法人税の取り扱いにも論及して」)	☐ ¥97,000	
	第7	2019/1/12(土)、 13(日)、14(月・祝)	小規模宅地等の相続税の課税特例 (特例の適用要件の確認から判例・裁決事例の検討まで)	☐ ¥97,000	

〈会場〉TAP高田馬場

〔所在地〕
東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階

〔交通アクセス〕
JR山手線高田馬場駅(戸山口)より徒歩約3分
西武新宿線高田馬場駅(戸山口)より徒歩約3分
東京メトロ東西線高田馬場駅(3番出口)より徒歩約6分

NPO法人 日本ファイナンシャルプランナーズ協会
法人賛助会員・継続教育認定単位研修機関

TAP 株式会社 東京アプレイザル

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18 高田馬場センタービル3階
TEL.0120-02-8822 FAX.03-3208-6255 [担当:藤江・柴田]
☎ <https://www.t-ap.jp> ✉ seminar@t-ap.jp



土地評価実務総合大学 秋冬 コース

税理士 笹岡宏保先生による 資産税実務大学 2018



講師〈全講座〉

笹岡会計事務所
所長・税理士

笹岡 宏保氏

会場：TAP 高田馬場 定員：60名様限定

土地評価実務総合大学 秋冬コース 全4講座 10/28より開講〈10日間〉



WEBでのお申し込みは 》 <https://tap-seminar.jp>

講師紹介



笹岡 宏保氏
笹岡会計事務所
所長 税理士

笹岡 宏保氏

【プロフィール】

1962年兵庫県神戸市出身。1981年関西大学経済学部入学。1983年大原簿記専門学校非常勤講師就任。1984年税理士試験合格。1985年関西大学経済学部卒業。その後、会計事務所に勤務（主に相続・譲渡等の資産税部門の業務を担当）。1991年笹岡会計事務所設立。現在、多くのクライアントの税務申告代理を行っている一方、各税理士会の「統一研修会」等の資産税講師、民間研修機関の講師として活躍している。

【主要著書】

- ◆『＜相続税・贈与税＞財産評価の実務』（清文社）
- ◆『Q & A 税理士のための税務判断実務マニュアル』（清文社）
- ◆『詳解小規模宅地等の課税特例の実務 重要項目の整理と理解』（清文社）
- ◆『これだけはおさえておきたい相続税の実務Q & A』（清文社）
- ◆『難解事例から探る 財産評価のキーポイント』第1集、第2集（ぎょうせい）
- ◆『ケーススタディ 相続税財産評価の税務判断』（清文社）

第4講座 農地・山林・原野（宅地予備地）の評価実務

10月28日（日） 29日（月） 〈2日間〉

- 1 農地（市街地系等農地とそれ以外の農地の評価区分：農業施設用地の評価を含む）
- 2 山林（市街地系等山林とそれ以外の山林の評価区分）
- 3 原野（市街地系等原野とそれ以外の原野の評価区分）
- 4 開発困難な場合の評価方法の特例とその実務適用基準
- 5 宅地造成費の具体的な算定方法

第5講座 雑種地の評価実務

11月25日（日） 26日（月） 〈2日間〉

- 1 雑種地の定義
- 2 雑種地の評価単位（特に、宅地の評価単位の取扱いとの差異を確認）
- 3 雑種地の評価方法（特に、市街化調整区域内に存する場合の評価留意点）
- 4 複雑な雑種地の上に存する権利の確認（雑種地に係る賃借権の評価方法）
- 5 雑種地の評価に係る実務上重要な判例・裁決事例の確認

第6講座 借地権の評価実務

一借地権の形態区分分類から判例・裁決事例の検討まで
「所得税・法人税の取扱いにも論及して」

12月22日（土） 23日（日） 24日（月・祝） 〈3日間〉

- 1 民法上の借地権と税務上の借地権
- 2 税務上の借地権（原始発生借地権と自然発生借地権の区分）
- 3 権利金方式・相当の地代方式・無償返還の届出書方式・使用貸借方式
- 4 相当の地代通達の確認
- 5 使用貸借通達の確認
- 6 個人間の使用貸借と税務評価の留意点
- 7 『貸主：個人、借主：法人』である場合の借地権評価に関する重要留意点
- 8 無償返還の届出書を提出する場合の実務留意点
- 9 その他の借地権に係る評価実務上の諸論点
- 10 所得税・法人税における借地権の取扱い
- 11 借地権評価に係る判例・裁決事例の検討

第7講座 小規模宅地等の相続税の課税特例

一特例の適用要件の確認から
判例・裁決事例の検討まで

2019年 1月12日（土） 13日（日） 14日（月・祝） 〈3日間〉

- 1 小規模宅地等の相続税の課税特例の適用要件
- 2 4つある小規模宅地等の区分の理解
 - 1) 特定事業用宅地等
 - 2) 特定居住用宅地等
 - 3) 特定同族会社事業用宅地等
 - 4) 貸付事業用宅地等



使用
テキスト

講師著書
「詳解・小規模宅地等の課税特例の実務」(清文社)
をプレゼント!

- 3 小規模宅地等の相続税の課税特例の実務適用に係る様々な実務論点の検証
- 4 小規模宅地等の相続税の課税特例に係る実務上重要な判例・裁決事例の検証
- 5 平成30年度の改正項目の確認